

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 協友 コテツフロアブル
農薬登録番号	: 登録第 23444 号
推奨用途および使用上の制限	農薬（殺虫剤）。農薬登録範囲外の使用は不可。
会社名	: 協友アグリ株式会社
住 所	: 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 6 番 1 号 山万ビル 11 階
担当部署	: 法務コンプライアンス部
電話番号	: 03-5645-0700
FAX 番号	: 03-3639-5299
メールアドレス	: info@kyoyu-agri.co.jp
WEB サイト	: https://www.kyoyu-agri.co.jp/

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

健康に対する有害性	急性毒性	: 区分 3 (経口)
	急性毒性	: 区分 4 (吸入・ミスト)
	特定標的臓器毒性 (単回暴露) (中枢神経系)	: 区分 2
	特定標的臓器毒性 (反復暴露) (中枢神経系)	: 区分 2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分 1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

【GHSラベル要素】:

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

H332	吸入すると有害。
H301	飲み込むと有毒。
H371	臓器の障害のおそれ (中枢神経系)。
H373	長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ(中枢神経系)
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。

P103 使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き（安全対策）：

- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P260 粉じん/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P264 取扱後は汚染された部位をよく洗うこと。
- P273 環境への放出をされること。

注意書き（応急措置）：

- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- P330 口をすすぐこと。
- P391 漏出物を回収すること。

注意書き（保管）：

- P405 施錠して保管すること。

注意書き（廃棄）：

- P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性：

アレルギー反応を起こす可能性がある。

含有物： 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと 2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名/一般名：

4-プロピル-2-(4-クロロフェニル)-1-イソチアゾリン-5-トリフルオロメチル-3-カルボニトリル (別名クロルフェナピル)

成分及び含有量 (W/W)

クロルフェナピル: 10 %

ホルムアルデヒド・(石油残差の接触改質留分)スルホン化物重合物のナトリウム塩：< 5 %

5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと 2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物：< 0.01 %

プロパン-1,2-ジオール：< 10 %

CAS 番号 : 122453-73-0 クロルフェナピル
68425-94-5 ホルムアルデヒド・(石油残差の接触改質留分) スルホン化物
重合物のナトリウム塩
55965-84-9 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと 2-メチル-2H-
イソチアゾール-3-オンの混合物
57-55-6 プロパン-1,2-ジオール

化審法番号・安衛法番号

(9)-378 and (5)-5235 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと 2-
メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物
(2)-234 プロパン-1,2-ジオール

化学式 : $C_{15}H_{11}BrClF_3N_2O$

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項] :

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。

患者が意識を失いそうになったら、横向き(回復体位)で安静に寝かせ、搬送する。

汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合] :

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

中毒の場合、中毒情報センターか処置助言担当の医師に電話をし、製品の包装やラベルについて話すこと。

[皮膚に付着した場合] :

直ちに水と石鹸で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

中毒の場合、中毒情報センターか処置助言担当の医師に電話をし、製品の包装やラベルについて話すこと。

[眼に入った場合] :

直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合] :

直ちに口をすすぎ 200 - 300 ml の水を飲ませた後、無理に吐かせたりせず医師の診断を受ける。飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器またはラベルを示すこと。

中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。直ちに患者を病院に連れていくこと。中毒の場合、中毒情報センターか処置助言担当の医師に電話をし、製品の包装やラベルについて話すこと。最低 7 日間の医療監視を行うこと。

[医師に対する特別な注意事項] :

症状 : 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2 章で利用可能な GHS ラベルのフレーズ及び 11 章で利用可能な毒性評価に含まれる。

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

中毒症状は数時間又は数日後に現れることがある。

処置：症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]：噴霧水, 二酸化炭素, 泡, 粉末

[使ってはならない消火剤]：棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]：

一酸化炭素, 二酸化炭素, 臭化水素, 塩化水素, フッ化水素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物, シリカ化合物, ハロゲン化合物, アルミニウム化合物

火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]：

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]：

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]：

蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]：排水溝等に流出させない。土壌中に放出しないこと。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]：

少量の場合：吸着剤に吸収させ回収し処分する(例：砂、おが屑、珪藻土)。

大量の場合：せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。

作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。

休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

飲食場所に入る前に、汚れた衣服や保護具は脱ぐこと。

安全取扱注意事項：注意事項は特になし。不燃性である。爆発性なし。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報：熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性：

保管期間：60 月

次の温度以下にならないように保護すること：0℃

本品は限界温度以下では結晶化する可能性がある。

次の温度以上にならないように保護すること：40℃

もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

4-ブ 0E-2-(4-7007Eコル)-1-ITキメチル-5-トリルカメチル° 0-ル-3-カホ° ニトリル (別名カルフエパ°ル) ,
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.3 mg/m³

【保護具】

[呼吸用保護具]：

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス/蒸気用複合フィルター EN 14387 タイプ ABEK-P3

[手の保護具]：

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1 によると、透過時間は 480 分以上であること)：ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]：

サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]：

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605 に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982 に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]：

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	粘稠懸濁液体
色:	類白色
臭い:	かすかな臭い, ピターアーモンド様の臭い
臭いのしきい値:	吸入による有害性のため、決められていない。
pH:	約6 - 8(1 %(m), 21°C)
凝固点:	約0°C (情報は溶媒に適用される)
沸点:	約100°C (情報は溶媒に適用される)
引火点:	不燃性である。
蒸発率:	適用せず
可燃性(固体/ガス):	適用せず
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
自然発火温度:	約520 °C (EU指令 92/69/EEC, A.15)
熱分解:	252°C、240 kJ/kg (DSC (OECD113)) 310°C、130 kJ/kg (DSC (OECD113)) 450°C、> 90 kJ/kg (DSC (OECD113)) 国連輸送規則クラス 4.1 に従い、自己分解性物質ではない。
SADT:	> 75 °C Heat accumulation / Dewar 500 ml (SADT, UN-Test H.4, 28.4.4)
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。(EU 指令 2004/73/EC, A.21)
蒸気圧:	約 23.3 hPa(20 °C) (情報は溶媒に適用される)
密度:	約 1.07 g/cm ³ (20 °C) (OECD テストガイドライン 109)
相対ガス密度 (空気):	適用せず
水に対する溶解性:	分散可能
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	適用せず
粘度:	約 68 mPa.s(20°C、100 1/s) (OECD 114)

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 252°C, 240 kJ/kg (DSC (OECD 113))

熱分解: 310°C, 130 kJ/kg (DSC (OECD 113))
熱分解: 450°C, > 90 kJ/kg (DSC (OECD 113))
熱分解: 国連輸送規則クラス 4.1 に従い、自己分解性物質ではない。

[混触危険物質]: 強酸, 強塩基, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]: 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]: 通常のと扱い条件下で危険分解物なし。

[化学安定性]: 製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

[反応性]: 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性毒性 (経口)

実験または計算によるデータ

LD₅₀ マウス : > 50 - < 300 mg/kg

本毒性データは活性成分に基づくものである。ヒトの中毒事故を予防するため、同じ製品 LD₅₀ が適用される。

急性毒性 (吸入/エアゾール)

LC₅₀ ラット : 2.62 mg/l (4 h) (OECD テストガイドライン 403)

急性毒性 (経皮)

LD₅₀ ラット : > 5,000 mg/kg (OECD テストガイドライン 402)

死亡なし

急性毒性の評価

単回の経口摂取の後、顕著な毒性がある。短期間の吸入により中程度の毒性。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

記載物質に関する情報: クロルフェナピル

症状および影響に関する追加情報は、2 章で利用可能な GHS ラベルのフレーズ及び 11 章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

中毒症状は数時間又は数日後に現れることがある。

刺激性

皮膚腐食性/刺激性 (ウサギ): 皮膚刺激性なし (OECD テストガイドライン 404)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 (ウサギ): 眼刺激性なし (OECD テストガイドライン 405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

実験または計算によるデータ

マウスの局所リンパ節試験 (LLNA) マウス: 感作性なし

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

単回暴露評価:

単回暴露は、臓器に關係する毒性効果を持つ可能性がある。

標的臓器: 中枢神経系

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: クロルフェナピル

反復投与毒性の評価:

反復暴露により、特定の臓器に影響する可能性がある。中枢神経系に影響を与える。

記載物質に関する情報: 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと 2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

誤えん有害性

適用せず。

その他該当する毒性情報

摂取後の報告されたヒトの健康への影響:

経口摂取直後の症状には、吐き気、嘔吐、発汗、腹痛。数日から 10 から 14 日遅れて現れる
その後の症状には、眠気、頻脈、頻脈または不整脈、高血圧、発熱、発汗、筋肉のけいれん、
筋肉のこばり、手足の脱力（時には麻痺につながる）、肝臓および腎機能障害、肺炎、およ
び突然の意識障害とそれに続く昏睡および心停止。誤用は致命的となる可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

魚類	: コイ	LC ₅₀	0.463 mg/l (96 h)
甲殻類	: オオミジンコ	EC ₅₀	0.0407 mg/l (48 h)
藻類	: 緑藻	EC ₅₀	126 mg/l (72 h)
無影響濃度	: 緑藻		0.772 mg/l (72 h)

記載物質に関する情報: クロルフェナピル

魚類	: ニジマス	無影響濃度	0.003678 mg/l (93 日)
甲殻類	: ミシッドシュリンプ	無影響濃度	0.000172 mg/l (28 日),

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: クロルフェナピル

環境区分間の輸送評価:

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないもの
と思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: クロルフェナピル

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

容易に生分解性されない (OECD 基準による)

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: クロルフェナピル

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 116, コイ

生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報: 前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送・海上輸送 (IMDG) ・航空輸送 (IATA/ICAO)

容器等級	: III
国連番号	: 2902
国連分類	: 6.1
品名 (国連輸送名)	: 殺虫剤 (液体、有毒) (他に品名が明示されているものを除く。) (クロルフェナピル)
環境有害性	: 国際陸上輸送、海上輸送 (IMDG) で該当

国内規制

陸上規制	: 毒物及び劇物取締法、道路法に従う
海上規制	: 船舶安全法に従う
航空規制	: 航空法に従う

15. 適用法令

農薬取締法	: 登録第 23444 号
消防法	: 非危険物
毒物及び劇物取締法	: 医薬用外劇物 (指定令第 2 条の 32 号 クロルフェナピル)
労働安全衛生法	: 非該当

<令和 7 年 4 月 1 日以降適用>

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号・第 3 号、規則第 30 条別表第 2)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号・第 3 号、規則第 34 条の 2 別表第 2)

化学物質排出把握管理促進法 (化管法)

:	第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) 4-プロモ-2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル (別名クロルフェナピル: 管理番号 722) を 10% 含有
---	---

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報に基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではなく、品質を特定するものでもありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒時の緊急連絡先

(公財)日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)

中毒110番

(365日24時間対応)

一般市民専用 (情報無料)

医療機関専用 (情報有料)

大阪

072-727-2499

072-726-9923

つくば

029-852-9999

029-851-9999

引用文献: BASF ジャパン (株) コテツフロアブル 安全データシート

(2024 年 10 月 16 日 改訂 9.2 版)